

## アイデア⑥ 内容A～Cの関連付けを図った授業構想

高等学校家庭科 家庭基礎 内容「C 持続可能な消費生活・環境」(2) (3)  
内容「A 人の一生と家族・家庭及び福祉」(3)  
内容「B 衣食住の生活の自立と設計」(2)

## &lt;ねらい&gt;

内容Cの消費生活の学習において、売買契約の学習の後に、「子供服は買う？借りる？」という課題を設定することで、内容A 家族・家庭生活(3) 子供の生活と保育、内容B 衣食住の生活(2) 衣生活と健康との関連を図り、多角的な視点から物事を捉え、意思決定することの大切さに気付くことができるようにする。

## 【アイデアのポイント】

内容A～Cの関連を図った授業を構想することで、衣服表示の見方や、通信販売の特徴、幼児の生活など、中学校での学習内容を振り返り、これまでに学んだことを活用・発揮し、考えを深めることができる。

高等学校学習指導要領解説 内容「C 持続可能な消費生活・環境」より  
(抜粋) ※共通教科 家庭基礎

## (2) 消費行動と意思決定

ア 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題, 消費行動における意思決定や契約の重要性, 消費者保護の仕組みについて理解するとともに, 生活情報を適切に収集・整理できること。

イ 自立した消費者として, 生活情報を活用し, 適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について考察し, 工夫すること。

## (3) 持続可能なライフスタイルと環境

ア 生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解するとともに, 持続可能な社会へ参画することの意義について理解すること。

イ 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう, 安全で安心な生活と消費について考察し, ライフスタイルを工夫すること。

高等学校の内容C  
では, このような  
内容を学習します。



高等学校学習指導要領解説 内容「A 人の一生と家族・家庭及び福祉」より（抜粋） ※共通教科 家庭基礎

### (3) 子供の生活と保育

ア 乳幼児期の心身の発達と生活, 親の役割と保育, 子供を取り巻く社会環境, 子育て支援について理解するとともに, 乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けること。

イ 子供を生み育てることの意義について考えるとともに, 子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察すること。

高等学校の内容Aでは, このような内容を学習します。



高等学校学習指導要領解説 内容「B 衣食住の生活の自立と設計」より  
(抜粋) ※共通教科 家庭基礎

## (2) 衣生活と健康

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解し、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができること。

(イ) 被服材料, 被服構成及び被服衛生について理解し, 被服の計画・管理に必要な技能を身に付けること。

イ 被服の機能性や快適性について考察し, 安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装を工夫すること。

高等学校の内容B  
では, このような  
内容を学習します。



## ポイント解説

内容相互の関連を図ることで、家庭科における見方・考え方を働かせながら、学習課題に取り組むことができるようにすることをねらいとしています。

そのためには、どのような単元（題材）をいつ行うのかなど、年間指導計画の作成段階から、具体的に学習の進め方、指導の全体像を固めておくことが重要です。

Point



# 「子供服は買う？借りる？手作りする？」

可愛い服を着せたいから、インターネットなどを利用して購入したいです。

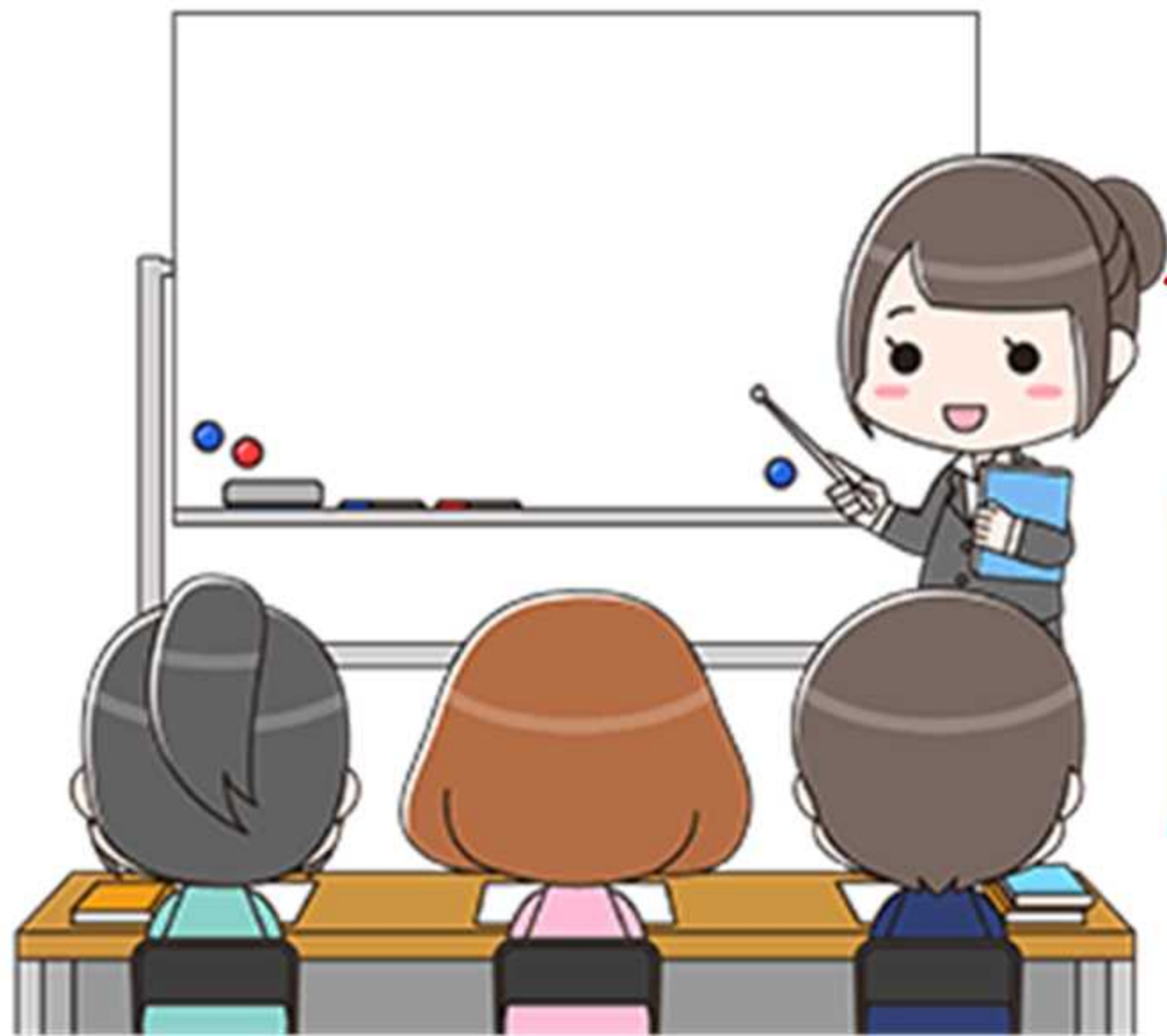
「子供服」の購入について考えてみましょう。あなたが将来、親になったとき、子供服は買いますか？それとも手作りしますか？レンタルするという方法もありますね。

七五三のときの衣装は、レンタルしました。

手作りは大変。でも子供はすぐに大きくなるから…。



# 「子供服は買う？借りる？手作りする？」



では、親となった自分を想像し、一消費者として、子供服をどのように入手するかを考えてみましょう。

衣服を選ぶときのポイントや、乳幼児の生活や発達の特徴、売買契約、環境問題などの知識を活用し、生徒が考えを深められるように、授業の流れを工夫していきましょう。



# 「子供服は買う？借りる？手作りする？」

内容B 衣生活と健康

内容C 消費行動と意思決定

+

自分の服なら、購入して長く着たいな。



衣服管理の視点

「七五三」の時はレンタルだったな。



乳幼児の身体の発達の視点

着なくなった服を無駄にしないために有効な方法かもしれない。



エシカル消費の視点





## 研修講座 受講者の感想より(一部抜粋)

- ◆生活との関連に気付くことができるようなテーマを設定し、授業を展開することが有効であると思った。
- ◆教科書通りに授業を組み立てるのではなく、学習の関連を見通して、単元を構想することが有効。
- ◆付きたい力を明確にして単元構想することが大切だと感じた。例えば、「選択する力を育成する」ことをねらいとすることで、食と消費生活だけでなく、衣生活の内容や高齢期の生活、自立などの学習と消費生活の関連を図った授業構想が可能になる。
- ◆年間指導計画の立案段階から、見直す必要があると思った。
- ◆家庭科は単元に分かれていてもそれぞれが密接に関わっている教科であり、関連付けた学習をすることで、生徒も自分の生活に結び付けて考えやすくなる。
- ◆資質・能力をどのように発揮させるのか、知識や技能が役立つ場面をどのように提供するかなど、自分の課題が多く見付かった。
- ◆身に付けた資質・能力の活用・発揮ができる授業を意識すると、題材間や教科間、そして小学校や高校とのつながりも出てくると思った。普段の授業からその1時間のねらいを明確にするためにも、いろいろなところとのつながりを考えて指導計画を立てていきたい。
- ◆教科の中だけで学習を捉えるのではなく、広い視野で内容を配列したりすることが必要。